

## B-13 久留米緋の耐候性について

精華女短大 磯部 誠介  
○井手 正代

1. 古来作業衣や日常使用の衣料に植物性染料藍染方式がある。その理由が耐候性で増すものか、汚れを目立たさなくする目的かを知るために久留米緋を主として耐候性について実験してみた。

2. 試料を島津製作所製ウェザーテスターで 40 時間照射し、各 10 時間毎に試料を採取し抗張力を測定した。

(イ) 試料として市販久留米緋、対比として純綿布といよ緋を用いた。

(ロ) 抗張力は新興通信万能引張試験機にて X-Y 自記録計を使って測定した。尚、念の為屋外曝露 6 カ月の実験を行いウェザーテスターと比較した。

3. 以上の結果をみてみると、特に藍染による耐候性上の利点はなかったと思われる。即ち日光照射特に紫外線による繊維の劣化よりむしろ無処理の綿布の方が大きかった。尚、10 時間に及ぶ藍染浸漬作業中の紋り作業による機械的弱化も考えに入れる必要があると考えられる。